

2015年の経済政策

田中 修

はじめに

12月5日、習近平総書記は中央政治局会議を開催し、周永康前政治局常務委員の党籍剥奪と案件の司法機関への移送を決定したが、同じ会議で2015年の経済政策についても討議している。また、習総書記は12月1日に党外人士座談会を開催し、当面の経済政策の考え方を述べている。本稿では、この2つの会議の概要を紹介する。

1. 党中央政治局会議（12月5日）

今年に入り、党中央・国務院は団結して全国各民族・人民を率い、昨年の中央経済工作会议の政策決定・手配を貫徹実施し、発展の大勢をしっかりと把握し、改革を全面的に深化させ、マクロ政策の連続性・安定性を維持し、マクロ・コントロールの考え方・方式を刷新し、的確に事前調整・微調整を進め、各施策をしっかりと実施し、経済社会の持続的で着実な発展を実現した。経済発展情勢は、総体として良好である¹。

わが国は経済発展の新たな常態に入っており、経済の強靱性が良好で、潜在力が十分で、挽回の余地が大きいことは、2015年及び今後の経済の持続的で健全な発展のために有利な条件を提供している。同時に、経済発展の新たな常態の下で出現したいくらかの趨勢的な変化により、経済社会の発展は少なからぬ困難・試練に直面しており、これを高度に重視し、適切に対応しなければならない。

2015年は、第12次5ヵ年計画を全面的に完成させる手仕舞いの年であり、改革全面深化のカギとなる年であり、法に基づく治国を全面的に推進するスタートの年でもあるため、経済政策をしっかりと行う意義は重大である。

18回党大会・18期3中全会・4中全会精神を全面的に貫徹し、「安定の中で前進する」という政策の総基調を堅持し、経済発展の質・効率の向上を中心とすることを堅持し、経済発展の新たな常態に積極的に適応しなければならない。経済運営を合理的区間に維持し、発展方式の転換・構造調整を更に重要と位置づけ、改革の堅塁攻略にしっかりと取り組み、イノベーションによる駆動を際立たせ、リスク防御を強化し、民政の保障を強化して、経済の持続的で健全な発展と社会の調和・安定を促進しなければならない。

（1）安定成長と構造調整のバランスを維持しなければならない

マクロ政策を安定させ、ミクロ政策を活性化させ、社会政策で底固めをするという総体

¹ ゴチックは筆者。

的な考え方を堅持し、マクロ政策の連続性・安定性を維持し、積極的財政政策と穏健な金融政策を引き続き実施する。

(2) 新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化の同歩調による発展を推進しなければならない

戦略的新興産業とサービス業の支柱としての役割を徐々に増強し、伝統産業をミドル・ハイエンド方向へと邁進させることに力を入れ、大衆による起業・大衆によるイノベーションを促進し、新たな成長スポットを積極的に発見・育成する。

(3) 食糧と主要農産品の生産量を安定させなければならない

農業発展方式の転換を加速し、主として生産量の伸びを追求し資源・消耗を顧みない粗放型経営から、数量・質・効率を併せ重んじ、競争力向上を重視し、持続可能な集約型発展を重視するように転換する。

(4) 経済発展の空間構造を最適化しなければならない

地域の総体的発展戦略を引き続き実施し、「シルクロード経済ベルト・海のシルクロード」、北京・天津・河北の協同発展、長江経済ベルトの建設を推進する。積極かつ穏当に都市化を推進し、省エネ・汚染物質排出削減と生態環境保護をたゆまず推進することを堅持する。

(5) 民生の保障・改善施策を強化しなければならない

基本的な民生の保障を更に重視し、低所得層の生活に更に注意を払い、社会の大局の安定を更に重視し、とりわけ雇用・貧困扶助政策をしっかりと行うことを重視しなければならない。

(6) 経済体制改革を断固として推進しなければならない

年度としての特徴があり、長期にわたる制度手配にも資する改革措置を打ち出し、経済体制改革方案の質を高め、経済体制改革措置の実施にしっかりと取り組む。

(7) 内需の潜在力を発揮させなければならない

輸入・輸出のバランス、外資導入と対外投資のバランスを促進し、国際収支の基本的均衡を徐々に実現する。

2. 党外人士座談会 (12月1日)

(1) 出席者

党側：習近平、李克強、劉雲山、張高麗、馬凱、王滬寧、劉延東、栗戰書、王勇、令計画、周小川ほか党中央・国務院関係部門責任者

党外人士側：民主諸党派主席、全国工商聯主席、林毅夫ほか

(2) 内容

李克強総理から、2014年の経済政策に関する情況、2015年の経済政策をしっかりと行うことに関する党中央の考慮を紹介。2014年の経済情勢と2015年の経済政策について党外人士から意見・建議を聴取。習近平総書記が重要講話を発表。

(3) 習近平総書記の重要講話概要

今年に入り、我々は発展の大勢をしっかり把握し、安定の中で前進するという政策の総基調を堅持し、改革を全面的に深化させた。マクロ政策の連続性・安定性を維持し、改革という方法を用いてマクロ・コントロールを改善することを堅持し、的確に事前調整・微調整を進め、各施策をしっかり行い、経済社会の持続的で着実な発展を実現した。

わが国経済の発展情勢は総体として良好であり、経済運営は合理的区間にある。農業の発展態勢は良好であり、科学技術イノベーションはいくらかのブレークスルーを得て、過剰生産能力の解消は秩序立てて展開されている。改革開放の深化は重大な進展をみており、人民の生活水準は向上し、社会の底固めは強化されている。

わが国は既に経済発展の新たな常態に入っており、我々は「安定の中で前進する」という政策の総基調を引き続き堅持しなければならない。「安定」の重点は、経済運営をしっかり安定させることに置かなければならず、「前進」の重点は、改革開放の深化と構造調整である。「安定」と「前進」を有機的に統一し、相互に促進する。

経済社会が平穏であってはじめて、改革開放の深化と経済構造調整のために安定したマクロ環境を創造できる。改革開放を引き続き推進し、経済社会の発展のために良好な予想と新たな動力を創造しなければならない。

経済発展目標を実現するカギは、安定成長と構造調整のバランスを維持し、マクロ政策を安定させ、ミクロ政策を活性化させ、社会政策で底固めするという総体的考え方を堅持することにある。

経済発展目標を実現するためには、以下の重点施策の実施に力を入れなければならない。

①新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化を同歩調で発展させなければならない

戦略的新興産業とサービス業の支柱としての役割を徐々に増強し、伝統産業をミドル・ハイエンドの方向に邁進させることに力を入れる。市場メカニズムの役割の発揮を通じ、産業化・イノベーションに更に多く依拠して、新たな成長スポットを育成・形成する。

②経済発展の空間構造を最適化しなければならない

地域発展の総体戦略を引き続き実施し、「シルクロード経済ベルト・海のシルクロード」、北京・天津・河北の協同発展、長江経済ベルトの建設を推進する。積極かつ穏当に都市化を推進し、省エネ・汚染物質排出削減と生態環境保護をたゆまず推進することを堅持し、経済発展と環境保護の Win-Win の実現に努力する。

③民政の保障・改善施策を強化しなければならない

際立った問題を重点的に解決し、基本的民生の保障を更に重視し、とりわけ雇用・貧困扶助政策をしっかり行うことを重視しなければならない。

④経済体制改革を断固として推進しなければならない

調査・研究の風を大いに高揚させ、実際の状況を把握し、解決方をしっかり制定する。

18 回党大会は、小康社会の全面的実現という奮闘目標を提起し、党 18 期 3 中全会は、改革の全面的深化についてトップダウン設計を行い、党 18 期 4 中全会は、法に基づく治国の全面的推進について手配を行った。この 3 つの「全面」は、内在的な相互ロジックの関係を有しており、有機的に統一されている。改革の全面的深化は、社会生産力の更なる解放・発展のために動力を提供するものであり、法に基づく治国の全面的推進は、改革の全面的深化のために法治の保障を提供するものであり、両者の目的は、小康社会を全面的に実現するという奮闘目標を推進し更に好く完成させるためのものである。

各民主党派、工商聯及び無党派人士は、関係する広範な構成員を積極的に誘導し、思想・行動を党中央の政策決定・手配に統一させ、改革を理解し、支持し、参加するだけでなく、法治の考え方を樹立し、法治の方式を運用し、法に基づき政治に参加し議論に与り、小康社会の全面的実現という奮闘目標のために共同で貢献しなければならない。

(12 月 8 日記)